



創政みらい 質問者

くわだ まさあき
桑田昌哲議員

所属議員

あまの きいちろう
天野喜一郎議員
もりおかさとこ
森岡聡子議員
にしなふみひで
仁科文秀議員
おおつきたかし
大月隆司議員
くりお のりこ
栗尾典子議員

新年度予算提案に ついて問う

議員 存在する、意義の薄れた事業や効果の少ない事業について、廃止、縮小したものをたずねる。

市長 市役所の旧態依然とした体質等に切り込みを入れ、聖域なく見直しをした。青少年育成センターと労働福祉会館の廃止、体育施設の照明のLED化、様々な団体への補助金等は23事業の廃止、縮小、統合を行った。業務量と職員配置も見直し、病院事業でも病床数に応じた職員削減をし、市全体の人件費を約1・7億円縮減した。

議員 グリーンスローモビリティ実証実験事業は、自動運転への切替えも考慮しているのか。

政策部長 情報収集は努めており、公共交通全体をどうしていくかも

含めて検討する。

観光振興について問う

議員 市長がよく言われる「稼ぐ」を考察したら『観光が笠岡を支える産業』の一つになるのでは。市としての観光振興の目的はなにか。

市長 観光振興の目的は経済効果を得ること、言い換えれば稼ぐことであると考えている。

議員 観光客の人数確認をするためにアプリを作成し、併せてポイント制度も創設してはどうか。D Xを活用していただきたい。

産業部長 アプリを利用して市内の観光スポットを周遊していただくことでポイントがつき、それを還元していく仕組みを考えていくべきである。提案いただいた内容を考慮してこれから検討したい。



讃志会 質問者

おおやまもりひさ
大山盛久議員

所属議員

ひがしかわさぶろう
東川三郎議員
おくのやすひさ
奥野泰久議員
はらだ
原田てつよ議員
やまもと さとし
山本 聡議員

第7次笠岡市総合計画 について問う

議員 第7次笠岡市総合計画前期4年間の結果を踏まえて、経営戦略、活性化戦略、未来戦略、安定戦略、計画推進戦略等、後期基本計画をどのように進めていくのか。

市長 後期基本計画の施策をより効果的に展開するため、PDCAサイクルの着実な実行に努める。施策を効果的かつ効率的に推進するには、住民、NPO、関係団体、民間事業者等の協力が重要である。そのため、各分野において、関連する団体や企業と行政が協働して着実に推進し、総合指標やタスク達成目標のクリアを目指す。また、外部有識者等を含む検証機関の意見を実施計画に反映し、事業を実施すること、で、「元氣・快適・と

きめき 進化するまち笠岡」の実現に取り組む。

有害鳥獣対策に ついて問う

議員 猟友会と笠岡市の問題は解決したのかたずねる。

産業部長 これまでと同様に、猟友会の駆除班及び実施隊に協力をいたいただいている。しかし、数年前からイノシシが増え続け、農作物被害が増加したこともあり、猟友会の駆除班及び実施隊のみでは市内全域を対応することが難しい状況となった。そこで、令和元年度から地域住民組織の設立を呼びかけ、現在は12組織が立ち上がり、自らが自分たちの地域の農地を守るという視点から、地域住民組織による捕獲活動が進められている。本市としては、猟友会と協力を重ね、協力をお願いし、指導をいただながら、事故なく捕獲が進むよう取り組んでいく。